

明るく陽気にいきましょう！！

H.M

これはウクレレ漫談家『ぴろき』さんのネタの冒頭です。

私は定年退職後の生活は、なるべく陽気に過ごして行こう考えていました。

自分で言うのもなんですが？性格が几帳面で、かつ、少し神経質な面があることから、現役時代はイヤな事や苦しいことがあると落込むことがありました。



リタイア後の人生はゆっくり、焦らず、陽気に、歩んで行こうと考え、生活を始めた所、半年後に下咽頭がんで声を失ってしまいました。

退院しても今度は、気持ちが完全に落ち込んでしまい、日々の生活が、通院以外、家に閉じ籠ってしまう事になってしまいました。

妻にも色々な病気を抱えている事が判明、二人して通院生活が始まり、声を失った生活をしていた事からストレスも溜まり始めていました。ある時、病院の待合室で銀鈴会のパンフ発見、訪問して入会させて頂きました。



食道発声授業は大変難しく、4か月後にシャント手術を受ける事を決意しました。術後、入院中に📞を掛け

『俺だ!!しゃべることが出来るようになった』と妻に伝え、嬉しくて病院中を『こんにちは!!』『こんにちは!!』と言って歩き歩き回った事が今でも印象にあります。

退院後はシャントクラスに参画、発声練習すると共に、再び食道発声にも再挑戦、今でも妻と教室に通い『教育』と『教養』のあることを目指し、同じ境遇の皆さんと逢う事で励みにもなっております。

残された人生は、陽気で、明るく、充実した日々を過ごせるよう精進して行きたいと考えております。

